

年 組 名前：



活動内容について打ち合わせするメンバー
甲府・舞鶴城公園

つなげる
支える

〈22〉

甲府・舞鶴城公園で活動する観光ボランティアガイドのグループ「甲府城御案内仕隊」は、2004年の結成以来、メンバーが勉強を

甲府城御案内仕隊

(甲府市)

知識深め歴史伝える

重ねながら甲府城の歴史や山梨の魅力発信に取り組んでいる。隊は県の呼びかけに応じたボランティアで発足し、現在は甲府のほか、都留市や北杜市など県内各地に在住する73人で構成している。火曜日の曜日ごとにグループに分かれ、午前10時ごろから夕方まで活動。天守台や本丸などで観光客を迎え、声をかけて案内している。現在は年間8千人以上が利用し、累計は約21万人に上る。

メンバーは入隊時に研修を受け、甲府城にまつわる歴史を学ぶ。さらに多岐にわたる場所や人物などの興味関心に応えるため、グループごとに自主研修を企画し、県内外の史跡を訪ねて知識を深めている。自作のガイド本を用意しているメンバーもいる。

本年度入隊した甲斐市の宮崎晋俊さん(65)は「研修を受けたら、漠然と見ていた石垣の積み方などが奥深く、見方が変わった」とさらに興味を深めたという。「全国的にはまだ知られていないので、情報発信の役割を担いたい」と話す。

外国人観光客への対応も工夫する。これまでに、中国語と英語のパンフレットを作製。新型コロナウイルス禍以降は特に外国人が増えたという。現在はガイド用の台本作りを検討している。

利用者からは、甲府周辺の観光スポットや、山梨の特産品が味わえる飲食店などを尋ねられることも多いという。漆原信夫会長(75)は「甲府市は甲府城の魅力だけでなく、山梨や甲府の良さも伝えて、また来たいと思ってもらえるようにしたい」と語る。

隊は活動の充実に向け、隊員の募集にも力を入れている。メンバーは「情報発信などには若い人の知恵やノウハウも必要。興味のある人は参加してほしい」と呼びかけている。

〈杉原みずき〉
第1、3土曜日に掲載します

(2025年2月1日付 山梨日日新聞 18面)

問1 「甲府城御案内仕隊」は、どのような取り組みをしているグループですか。

.....

問2 外国人観光客への対応を、どのように工夫していますか。

.....

問3 甲府城御案内仕隊は、活動を充実させるためには、なにが必要と話していますか。

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2025 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.